|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(5)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2022年2月5日～ 2022年2月6日週間祈りカード | | |
| △産業宣教  産業人ヨセフの237か国と24（創41:38） | △核心訓練  私を生かす祈り（使2:7） | △レムナント伝道学  レムナントがあらかじめ備えること(ダニ1:8-9) |
| 産業であるヨセフが実際の237か国を生かす24をどのようにしたのか。  創41:38 -すでに福音持っているので一つだけ分かれば良い。  24 -ヨセフはすべてを生かしたのだ。これが力で、福音だ。私たちは真理を言い訳に、正しいか正しくないかをとてもはやく判断する。律法では救われない。どんな人も変化して、正しくできるように待たなければならない。  □序論\_そのために必ずすべき一つのこと  ともに(WITH)の奥義が見える。←神の国24 → 237か国が見える。  1.これを分からなければ  1)教会通うのに未信者のようだ。  2)未信者のお使い　3)未信者とサタンの奴隷  2.OK -この答えを知っていれば、すばらしいことが起こる。  神の国24は聖書の最高の約束で福音のまことの実だ。心が痛むようにさせる信徒がいるのか。反対側で、その人の立場で、神様の大きい計画をもって考えてみなさい。  3.Nobody－Nothingであるほど神の国の祝福を正しく見るようになる。  □本論\_ヨセフが持った力  1.始まり(Start)が違った。  1)創37:1-11難しいとき、世界福音化のビジョンを確かに見た  2)創41:38私たちの始まりは「神の霊の宿る者」  2.過程(Process)も変わる。  1)創39:1-6奴隷-最高出世の過程  2)創40:1-23汚名、監獄-世の中に出て行く出世の過程  3)創41:1-38パロ王に主なる神様が知らせてくださる話したヨセフ、パロ王が神の霊の宿る者を見たことがないと告白、王が直接、総理に指名  3.結果(Goal) -いつでも始まりと終わりが同じだ。ただ「主が私とともにおられるので」  1)創39:2、6　苦しみにあったとき　2)創41:38王の前で  3)創45:1-5成功したとき  □結論\_このとき、来る答え  1.25 – WITH、Immanuel、Oneness  2.永遠-神様に栄光を帰すことが残る  3.聖霊-ヨセフに働かれた聖霊は今も私たちに働いておられる。 | □序論\_五つ覚えること  1福音－福音が何か正確にしなければならない。  背景の説明をしなければならない。  1.創1:3神様が創造の光を照らしていのちが生きるようになった  2.創3:15サタンにだまされて創1:3をなくしたとき→エデンの園を回復させる福音  3.創6:14サタンの助けで宗教活動して大きいわざわい会ったとき→箱舟の中に入ってきなさい。  4.出3:18福音を味わわないからずっと良くならずあきらめたとき→血のいけにえをささげに行きなさい。  5.イザ7:14また、味わわない。バビロン捕囚のとき→処女が身ごもって男の子を産む。  6.マタ16:16解放された喜びでまた、福音をのがしたとき→主は生ける神の御子キリストです。  7.ロマ1:16-17生きるのが楽になったからまたのがしたとき→パウロとマルティン・ルターが持ち出した  2救い-救われた者が受けた祝福  1.ヨハ1:12権威　2.Iコリ3:16私たちの中に臨む聖霊  3.使1:8聖霊の満たし→力  4.ガラ2:20滅びなければならないあなた運命は十字架で終わり、キリストがあなたの中におられる。  3いのち運動－黙想運動、いやし運動、サミット運動→福音と救いが信じられるならば、簡単に成り立つ。  生命線－祈り+呼吸→この二つがつながるとき、みわざが起こる。  4霊性回復-神秘主義、宗教活動、超能力から出て、ただ1,3,8で(なぜただなのかを説明)  5証人－私に、現場に証拠、12使徒、70人長老、3000弟子企画  △牧師はこの部分を余裕あるように聖書を見つけながら必ず一度は説明しなければならない。  □本論\_何をどのように生かすべきなのか  1.三位一体－臨在約束  1)創1:26「われわれのかたちとして」  2)マタ28:19-20父と子と聖霊の御名によって  3)ピリ2:6根本神様の御姿→人となって　4)使1:1-8三位一体の神様の奥義  2.部分-祈りを味わうとき、どこを生かすべきなのか  1)創1:27私のいのち　2)創2:7私のたましい  3)創2:17-18私の生活の中にエデンの祝福が臨むように  4)ヨハ20:22祈りの中で生かすべき  5)使1:3,8,14契約を持って使命の中で受け入れる  3.道具(方法) -私を生かす道具、方法(正確な契約を握る瞬間、詩103:20-22)  1)ヨハ1:1みことばは神様　2)ヨハ1:14みことば→人  3)ヘブ4:12私たちを生かすみことば  □結論\_これが刻印、根、体質なるように  1.刻印－単語(メッセージを聞いて黙想とともに短い単語で整理してみること)  2.根－深い祈り(この単語を握って少しの間でも深い祈り)  3.体質－集中(問題や現場の中に集中してしまえば私のことになる) | □序論  △Remnantがあらかじめ備えること   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 祈りシステム | 霊的作品 | 学業(職業) | | (集中)  -(呼吸) | (力)  -(幸せ) | ただ、唯一性、  再創造 |   1.御座を動かす祈りのシステムを準備しなさい-このとき、集中方法を見つけなさい  2.霊的作品が作られる。大変な場合もあるが、最も力を得る幸せな時間が作られる。  3.学業、職業とつなげてただ、唯一性、再創造が起こる。  □本論  1.選択(ダニ1:8-9)-私は神様が選択された人であることを知るようになる  1)ダニエル　2)三人の青年　3)エステル  2.危機－恐れなかった理由が何か  1)神殿滅亡　2)捕虜－王が捕虜になること　3)王宮－王宮に呼ばれる  △問題がきたときは恐れずに過去、現在、未来を同時に見なさい  3.機会－少し難しく来ることがある。  1)ダニ3:8-24ネブカデネザル王が大きい偶像を作ってみな拝めと言う。困難のようだが機会だ。  2)ダニ6:10-22ダニエルが成功するから、なくしてやろうと陰謀を企てる。これが機会だ。  3)エス4:1-16ハマンはエステルのために完全に崩れる。問題の後にはより良いことがある。  □結論\_すべての事件を見る目が変わらなければならない(現実、事実、真実、霊的事実、みこころ)  1.当然－受け入れるべき　2.必然－超越すべき　3.絶対－神様の力  △散らされた弟子たち  三つ目のキャンプ－再創造 (使2:17-18)  □序論  1.祈りの奥義－3(三位一体の神様)、9(御座の祝福)、3(3時代)、一単語(毎週確認)  みことばの奥義－流れを見てバトンを握るべき。  伝道の奥義－祈りとみことばの奥義がセッティング/ 1、3、8を持つ人々が14マルコの屋上の間でセッティングされて13、16、19の現場に行って生かした  2.237、5000種族へ行く方法－RUTC(Remnantをワンネスさせて訓練して現場にいるように)  3.未来の道を神様が見せられる(使2:17-18) -預言、幻、夢  □本論\_キャンプしなければならない三つのこと  1.ただ、唯一性、再創造同時発見－カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間  2.ただ、唯一性、再創造同時味わう-契約を握る瞬間、神の国、三つの祭り、未来  3.ただ、唯一性、再創造同時挑戦-使2:43-45、使3:1-12、使4:32-37バルナバ  □結論\_使2:1-13、13:1-4、16:6-10、19:1-7聖霊が臨まれるとただ、唯一性、再創造が同時に見える。これを見て動かなければならない。→私たちは問題を見て答えを見るのだ。 |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(5)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
|  | | |
| △区域メッセージ  遊女ラハブとヨシュア、カレブが味わった24(ヨシ2:8-24) | △聖日1部礼拝  世の中が治すことのできない病をいやされたキリスト  (マタ8:14-17) | △聖日2部礼拝  キリストがおいでになる教会 (マタ8:18-22) |
| □序論  △出エジプト、荒野、カナン[不安、未来心配、選択→歴史、みことば(過去、今日、未来)]  -今、出エジプトして荒野の道を通り過ぎているが、カナンの地まで入らなければならないのに、私たちは神様の重要なみことばを持って過去、今日、未来を見れば間違いない。  -遊女ラハブの話を聞いて決めなければならないヨシュア、それに仕えたカレブは、みことばを見て選択した。聖書は編集しないでありのままを記録しながら福音を説明している神様のみことば  良いこと　←　流れ(正確)　 -　詩103:20-22 　←御座  -神様の確実なみこころであるこの流れを正確に握るとき、詩103:20-22で天の軍勢、御使いが活動をするが、これは御座の祝福が働くこと、神様は今、難しいように見えても良いことを与えてくださる神様である。  □本論  1.ラハブ－うわさ(みことば)、ラハブは神様のみことばをうわさで聞いた  1)いのちをかけた決断－斥候を隠したというのはいのちをかけた決断  2)信仰告白－斥候に信仰告白をしたことは絶対契約として握ったこと  3)絶対契約－御座の祝福が起こるしかない。  4)救い－系図、ラハブは救われただけでなく、イエス様の系図の中に入る  2.ヨシュア  1)モーセ(237、御座、時空) -契約、すでにモーセを通して契約を見た人がヨシュアだ。モーセは237と御座の祝福、時空を超越する神様をすでにすべて体験した  2)いやし－契約の箱、「契約の箱について行きなさい」とは、常にヨシュアが下した命令、これはみことばに従って行きなさいということ  3) 237、いやし、サミット－237か国といやしとサミット運動だった。私たちが受ける祝福だ。  3.カレブ  1)今日－未来、今日の契約を未来をおいてあらかじめ見た人  2)危機－未来、今日の危機を見て未来をあらかじめ見た人  3)時代－未来、カレブはこの時代に今起こる状況以後にどうなるのか分かった。  □結論\_ 24  △契約を握ってこの生活を送るとき、これを「24」と言う。良い神様がエジプトも生かそうとして、カナンも生かそうとされた神様の計画を知っている人だけ連れてカナンに入ったのだ。 | □序論  1.隠されているが大きい影響を受けているのにまったく分からないこと  1)シャーマニズムの国韓国、立ち返ってきたシャーマンが刻印されたことで問題くるとき、誰も助けることができない現実  2)イエス様のみことば(マコ3:13-15、マコ16:15-20、マタ8:14-17)  3)病の原因-創3章、神様から離れて来たこと、解答-マタ8:17(イザ53:5)  2.現実-この事実をまったく分からない教会、隠れた問題を持つ人々が行くところがなくてお祓い、占いをする現実、サタンが3団体を作り出して瞑想で憑依運動をして作品を作り出す現実、200か国がテンプルステイ訪問、霊的問題を解決する方法がない  個人→みことばに戻らなければならない。  3.記憶しなければならない一つ－悪霊を動かす親分がサタン、そのサタンの権威を打ちこわされたイエス様(Ｉヨハ3:18、創3:15)  □本論  1.誰も教えないこと-キリストが来られた理由を分かる瞬間に暗やみは縛られる。  △だまされてはならない。みなさんは神の子ども!終わったのだ。  1)創3:15女の子孫が蛇の頭を踏み砕く  2)創6:14箱舟の中に入ってくれば良い。  3)出3:18暗やみに閉じ込められていること-血のいけにえをささげｇに行きなさい  4)イザヤ7:14たましいが捕虜になった-インマヌエルの祝福を回復しなさい  5)マタ16:16暗やみの権威に属国になった-主は生ける神の御子キリストです。  2.誰も行うことができないこと-キリストを味わう瞬間から私と現場と多くの人々にみわざが起こり始める。  1)使13章魔術師いやし　2)使16章占いの悪霊につかれた者いやし  3)使19章偶像崇拝で死んでいく病気の者いやし→パウロの時代を変えた3大現場  3.誰も与えられないこと-キリストで満たされるとき、変化する。  1)マタ28:18-20天と地のすべての権威を持たれた復活の主が世の終わりまでいつもともに  2)マコ16:15-20わたしの名で悪霊を追い出し、病んだ者に手を置けばいやされる  3)使1:8あなたの力ではなく、ただ聖霊に満たされれば力を受ける。彼らを生かすことになる。  △キリストを知る瞬間、終わる。それゆえ「あなたがたはわたしを誰だと言いますか」と尋ねられたのだ。味わうならば変化が起こる。これで満たされれば時代が変わる。  □結論  1.みなさんの産業、文化、これから起こる次世代が、すべてみな暗やみ現場に入っている。  2.勝つ権威が与えられたので、この契約を握って祈りなさい。  1)神様がくださったことを信じれば良い。  2)集中→働き　3)深い祈り→世の中を動かす  3.霊的問題を恐れる必要はない。神様のみことばが刻印されればどんなことが起こるか分からない。 | 根本(メモ) -根本の力があって、根本のいやしをすべき、みことばを聞きながら一番重要な単語を握って一つずつ出会いと現場を大切にして祈るならば、ずっと祈りとなる。このようなメモをいう。  □序論\_まことの福音の始まりは何か  キリストの価値を知っていること-キリストだけがわざわい、サタン、地獄権威を折った。  1.三つの神殿－統一されるべき  1)御座－御座が神殿　2)内住－私の中に神殿が臨むこと  3)集まる所－人々が集まる所が神殿  2.枕する所(ヘロデ神殿) -イエス様はヘロデ神殿に行くことができず、王宮に行くことはできない。  3.急務なこと-今、霊的にみんな死ぬのに、肉的なことが急務ではないという意味、イスラエルは滅亡、ローマはわざわい、次世代はさまようようになるため  □本論\_世界教会でできなくなっていること  1.神殿の主人－キリスト(κυρίος、主) - 「主よ」ということばはキュリオス(κυρίος)というギリシヤ語、ローマでこの単語は皇帝にだけ使うことだと250年間、教会を迫害した。コンスタンティヌスという皇帝が私の主、私たちの主キリストだ!と250年ぶりに告白する。  創3,6,11(私-主) → Satanサタンが創3、6、11章で完全に私を主人にする  1)絶対契約－キリストが神殿で主人になれば絶対契約が成り立つ  2)創3:15、6;14、出3;18、イザ7:14が成り立つ  3)運命－完全に運命がひっくり返ってしまう  2.三つの庭の主人－キリスト  1)異邦人の庭　2)祈りの庭　3)子どもたちの庭  △このとき、絶対旅程が回復、237か国を生かすPlatform、237か国暗やみに光を照らすWatchTower、237か国と通じる霊的Antenna  3.未来を回復する主人  1) 7大神殿が作られる、その主人がキリスト  2)このとき三位一体の神様と御座の力と3時代を生かす答えが起こる  3)絶対目標－これを絶対旅程をすぎて絶対目標と言うこと  □結論  1.七つの星、七つの燭台－七つの星を握って七つの燭台の間を通うキリスト  2.初め、終わり-初めて、終わりである人がキリスト  3.鋭い両刃の剣-両刃の鋭い剣を持たれたキリスト  4.炎、しんちゅう-炎のような目、足が光るしんちゅうのようなキリスト  5.七つの御霊、七つの星－七つの御使いと七つの主のしもべを握っておられるキリスト  6.かぎ-ダビデのかぎを持つキリストが閉じれば開ける者はなく、開けば閉じる者はいない  7.創造の根本－創造の根本であるキリスト  △本当に教会をキリストがこのように守っておられる。祈っていれば答えはすでにきている。黙8:3-5、ダニ10:10-20、詩103:20-23を見れば祈りはみな積もっているのだ。 |